

# とうきょう すくわくプログラム実践報告書

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

音

<テーマの設定理由> (テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

いろいろな音を聞いたり、自分で自分で音を出したりする中で、子どもたちの好奇心を引き出す。身近なものから新しい発見ができるような体験を通して、探究心を育てていきたい。

## 2. 活動スケジュール

10月21日 「音を探しに行こう」

11月 「どんな音がするかな？」

12月 「音の発見」

1月 「楽器を使ってみよう」

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境設定をしたか、準備した素材や道具)

図鑑、絵本、自然物、太鼓、タンバリン、ベル

## 4. 探究活動の実践

<活動の内容>



なんのおと？

散歩中に聞こえてきた音。  
どこから音がするのかを探し  
出しています。





かさかさかさ～

落ち葉を踏む音や手で掴む時の音、手で擦りガサガサと感触を確かめながら音の変化を探しています。



サクサクしてる

## 5. 振り返り

散歩の途中で排水溝で音が聞こえる事に気がついた子ども達。耳を近づけて見ると「おみずちよろちよろしてる」となんの音か耳をすませながら聞いている様子だった。戸外先では見つけたたくさんの落ち葉をたくさん持って葉っぱを投げてみたり、擦り合わせてみたりすると次第に「カサカサ」と音になっていることに気が付いていた。また、落ち葉が落ちている場所を歩いて見ると「サクサク」という音になっていることに気づき、みんなで一緒に落ち葉を踏んで音を楽しんでいる様子が見られた。





## 5. 振り返り

始めはどんぐりを観察したり集めたりする子ども達だったが、次第に道具の存在に気付き、太鼓の中に入れてみたり上に落としてみたり自然と音を楽しむ姿に変化していった。道具の使い方を決めず、自由に遊ぶよう見守った結果、道具の新しい使い方を発見していたので良かったと思う。室内では、触り慣れた物を出したが、自ら音に気づき言葉に出して表現する姿が見られた。音の活動を通し学んだ音の鳴らし方を確かめている王素であった。

# とうきょう すくわくプログラム実践報告書

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

音

<テーマの設定理由> (テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

いろいろな音を聞いたり、自分で自分で音を出したりする中で、子どもたちの好奇心を引き出す。身近なものから新しい発見ができるような体験を通して、探究心を育てていきたい。

## 2. 活動スケジュール

10月21日 「自然物を探しに行こう」

11月 「どんな音がするかな？」

12月 「音の発見」

1月 「楽器を使ってみよう」

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境設定をしたか、準備した素材や道具)

図鑑、絵本、自然物、太鼓、タンバリン、ベル

## 4. 探究活動の実践

<活動の内容>



カンカンしてる

戸外先で、音の響きや振動を  
発見しています。



なんかおとがする

こえがおおききこえるよ！

音が反響する場所を探し出し、  
どのように聞こえるのか  
を確かめています。



やっほー



なにこれ

クリスマス制作で鈴を使用しました。手で触れただけでは上手く音が出ず、不思議な表情を浮かべています。



おとしないよー



しゃんしゃん♪

振ると音が出る事に気づき、皆で仲良く振っています。

## 5. 振り返り

遊びの中で様々な音に気づき、自分なりの言葉にして表現していた。側溝を踏むと聞こえる音には、走ってみたり歩いてみたり速度や踏む強さを変えて音の違いを楽しんでいた。また、「でんしゃみたい」と、「カンカン」という音を電車に見立てていた。

声を出して走っていた子ども達が、途中トンネルに入ると音が響く事に気付いた。不思議そうに感じながらも、声を出し、笑いながら音の響きを楽しんでいた。その後も散歩中にトンネルをみると思い出すように、声を出し音が反響するのか確かめる姿が見られた。

クリスマス制作で初めて鈴に触れてみると、制作の段階では上手く音が出ず不満げな表情を浮かべる姿が見られた。完成後もしばらくは出来上がったものを見つめていたが、振ると音が出る事に気づき、楽しむ姿が見られた。

# とうきょう すくわくプログラム実践報告書

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

音

<テーマの設定理由> (テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

いろいろな音を聞いたり、自分で自分で音を出したりする中で、子どもたちの好奇心を引き出す。身近なものから新しい発見ができるような体験を通して、探究心を育てていきたい。

## 2. 活動スケジュール

10月21日 「自然物を探しに行こう」

11月 「どんな音がするかな？」

12月 「音の発見」

1月 「楽器を使ってみよう」

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境設定をしたか、準備した素材や道具)

図鑑、絵本、自然物、太鼓、タンバリン、ベル

## 4. 探究活動の実践

<活動の内容>





ならないよ？

見たことのある楽器でも、音を鳴らすのに苦戦している様子です。自分なりに考えてどうしたら音が出るのか探求しています。



他の楽器と同じように扱ったら、どんな音が出るのか、興味津々です。



みてびあのおとがしな一い

## 5. 振り返り

初めてドレミのマットを見て、躊躇せず乗る子どもや、少し不思議そうにそっと手で触れるだけで中々上には乗るとしない子どもなど様々な反応が見られた。「なにこれえ、おとがする」などと一音ずつ楽しむ子どもや、一気に音を鳴らすために友達が通過するまでじっと待つ子どもなど楽しみ方もそれぞれであった。

タンバリンは今までの活動でも触れたことがあるので片手で上手に叩いていたが、途中マイクで叩き音の違いを感じたり、タンバリンの裏側に物を入れてみる挑戦も見られた。

ハンドベルや鉄筋、木琴は初めて触れた児が多く、「どうやって音を鳴らすか」というところから始まった。ハンドベルは12月に行われたクリスマス会で保育者が行っていたのを見ていたからかすぐに鳴らすことができたが、音をきれいに鳴らすにも力が入り中々ならないと、くっつけたらなると思ったのか、2つのベルをくっつける様子が見られた。鉄筋や木琴は太鼓の容量でマレットを使い音を鳴らしていたが、隣の友達がピアノに触れているのを見ると真似て音を鳴らそうとする姿が見られた。一つの鳴らし方でなく、自分で考えて探求している姿が多く見られた。

# とうきょう すくわくプログラム実践報告書

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然

<テーマの設定理由> (テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

園庭遊びや散歩の際に、自然物へ興味を示し、積極的に関わろうとする姿が見られる。学園の森へ出かけて、多くの自然と関わることで、関心を深め、探究活動へ繋げていきたい。

## 2. 活動スケジュール

5月 20日

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境設定をしたか、準備した素材や道具)

幼虫、サナギから羽化した蝶、図鑑

## 4. 探究活動の実践

<活動の内容>

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)



むし！あった



戸外先で図鑑コーナーを設けてみると、子ども達自ら熱心に図鑑を開き、出会った生き物を探す姿が見られます。



図鑑で見つけた草花  
を実際に手に取り、観  
察する様子です。



#### 5. 振り返りによって得た先生の気づき

見つけた虫を図鑑で探すだけでなく、図鑑で見た物を実際に触れてみたい、探してみたいという気持ちが芽生えているようであった。

図鑑で知る事で、以前は虫に触れる事に少し躊躇していた友達も、自ら触ろうとする姿が見られた。知る事により興味関心がさらに強まっているように感じた。

# とうきょう すくわくプログラム実践報告書

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然

<テーマの設定理由> (テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

園庭遊びや散歩の際に、自然物へ興味を示し、積極的に関わろうとする姿が見られる。学園の森へ出かけて、多くの自然と関わることで、関心を深め、探究活動へ繋げていきたい。

## 2. 活動スケジュール

6月 16日

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境設定をしたか、準備した素材や道具)

幼虫 サナギから羽化した蝶 図鑑 虫眼鏡

## 4. 探究活動の実践

<活動の内容>

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)





#### 5. 振り返りによって得た先生の気づき

以前から虫に対する関心が強い子ども達だったが、「せんせいこれなにー？」と聞くだけでなく、自分で「これじゃない？」と探す姿が見られるようになってきた。探している際には、「みどりだからこれかな？」など色や特徴を捉えて自分なりに考える姿も見られて成長を感じた。

# とうきょう すくわくプログラム実践報告書

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然

<テーマの設定理由> (テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

園庭遊びや散歩の際に、自然物へ興味を示し、積極的に関わろうとする姿が見られる。学園の森へ出かけて、多くの自然と関わることで、関心を深め、探究活動へ繋げていきたい。

## 2. 活動スケジュール

7月 6日

7月 16日

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境設定をしたか、準備した素材や道具)

幼虫、サナギから羽化した蝶、図鑑

## 4. 探究活動の実践

<活動の内容>

羽化した蝶を観察した。どのような過程で蝶になったのか、幼虫を見ながら話をし、更に『ちいさないきもの』の本の表紙に載っていた幼虫の写真と見比べて観察した。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

保育者が「これ何かな？」と尋ねると「ちょうちょ」と言い、止まっている蝶を何度もケージ越しに触ろうとする姿が見られた。蝶が飛ぶと「とんだ」と声を上げ、止まるまで目で追いかけていた。更に「どうやって蝶になったのかな？」と保育者が問いかけると「むし？」と答えていたため、幼虫を子どもに見せると『ちいさないきもの』の本を持ち、表紙の写真と見比べて「これ！」と言いながら本の写真を指で示していた。その後も図鑑を熱心に見ている子が見られた。



蛹から蝶々になった姿を観察している様子です。



別の蛹を見ながら蝶々と見比べる姿が見られます。



5. 振り返りによって得た先生の気づき

幼虫から蝶々になったことは理解できていた子もいたようだった。『はらぺこあおむし』の絵本のイメージがよりリアルに感じられた様子だった。  
観察後に玩具で遊んだが、図鑑や絵本の中から、蝶や虫を探して熱心に振り返る子がいた事に驚いた。

# とうきょう すくわくプログラム実践報告書

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

光

<テーマの設定理由> (テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

光や影の変化に気がつき、自分で作り上げた作品を通してより光に興味を持ち自由な発想力を伸ばしていけるようになる。

## 2. 活動スケジュール

10月 「影の発見」

11月 「影って色が変わるのかな？」

12月 「自分の制作物も光らせてみたい」

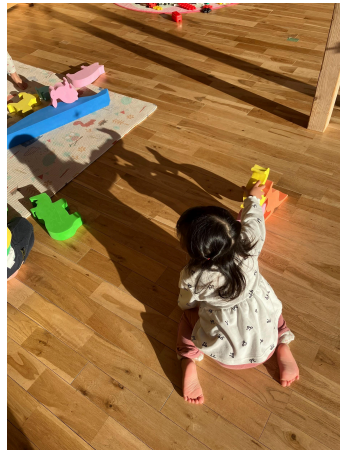
## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境設定をしたか、準備した素材や道具)

動物ブロック、数字の積み木

## 4. 探究活動の実践

<活動の内容>



窓の近くで遊んでいた。すると自分の影が出ている事に気が付く。そして、遊んでいた、動物ブロックや数字の積み木を並べて遊び始めた。すると、動物や数字も影になって出ている事に気が付き楽しむ姿が見られた。また、動物や数字を積んでいくと影も伸びている事を発見。どんどん影を伸ばす為、上にと積み上げながら影の変化を見て楽しんでいた。

## 5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

以前から自分の影に気が付き動いたり動作を入れたりして楽しむ姿が見られるようになってきた。それに伴い、自分の影だけでなく、玩具を使って影を楽しむようにもなってきた。遊んでいて玩具を掴むと影も大きくなることや、見る角度によって影の形が違って見えるなど、角度や大きさなど自分で考えて変化を楽しんだり自分で考えて様々な事を試してみたりする姿が見られるようになってきた。

# とうきょう すくわくプログラム実践報告書

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

光

<テーマの設定理由> (テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

光や影の変化に気がつき、自分で作り上げた作品を通してより光に興味を持ち自由な発想力を伸ばしていけるようになる。

## 2. 活動スケジュール

10月 「影の発見」

11月 「影って色が変わるのかな？」

12月 「自分の制作物も光らせてみたい」

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境設定をしたか、準備した素材や道具)

マグビルド

## 4. 探究活動の実践

<活動の内容>

磁石の玩具を使い様々な作品を作って遊ぶ姿が見られた。遠くが透けて見える為覗いて遠くを見て見たりと楽しむ姿も見られた。そして、窓側で遊んでいると光が当たり影に色が付いている事に気が付く、どんな色でもつくのかと様々な物で試してみたりもした。





## 5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

光に色が付くと、普段みる事の出来ない見え方に夢中で観察を楽しむ姿が多くあった。また、色を重ねると色が変わるかもしれないと試してみたり、どんな色もつくのかと試す姿もあった。また、太陽との角度によって影に色が付いてみえることにも不思議を感じていた。色々な角度を実際に試してみて学びを得る事が出来たりとしていた。

# とうきょう すくわくプログラム実践報告書

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

光

<テーマの設定理由> (テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

光や影の変化に気がつき、自分で作り上げた作品を通してより光に興味を持ち自由な発想力を伸ばしていけるようになる。

## 2. 活動スケジュール

10月 「影の発見」

11月 「影って色が変わるのかな？」

12月 「自分の制作物も光らせてみたい」

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境設定をしたか、準備した素材や道具)

光が透ける制作物 光 カラーセロハン

## 4. 探究活動の実践

<活動の内容>

制作でカバンを作った。作りがペットボトルに花紙を貼るという事で光が外に透けて見えるという作りになっている。光らせてみたいという子ども達の声聞き実際に光を中に入れて光らせてみる事に。それぞれ違う色で作っている事もあり様々な色で光って楽しむ事が出来た。お互いに見せ合ってみたりと楽しむ姿が見られた。

12月のクリスマス会でも、引き続き光に興味があった為光の制作として壁面を行った。戸外から入る光が床や自分自身に当たると色がついている事に興味湧き、楽しむ姿が見られた。



## 5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

自分の作品という事もあり夢中になって楽しむ姿が見られた。また、光の色を変えたら見える色も違うのではないかと考える児もいた。実際に行ってみて光の不思議を感じる姿も見られた。保育園だけでなく、お家に帰ってからも保護者の方に見せてあげようという児もいたり光に興味を沸き発想力が伸びているように感じた。